

7/19 の全協時の内容と変わらないが、タイトルが変わりました。(全協時は「くらしとエネルギー 牧之原市のまちづくりを考える」意見交換会でした)

定例記者懇談会 資料No. 7
平成 28 年 8 月 24 日
総務部 防災課
政策協働部 地域創生課
0548-23-0058

「牧之原市のくらしとエネルギーを考える」意見交換会の開催について(案)

1 目的

福島原発事故後の現状やエネルギー問題などについて、牧之原市の PAZ 圏内(地頭方地区、相良地区)の住民の皆さまが意見交換を行うことで、様々な意見、考え方に触れ、相互に理解を深めることを目的とする。

・この中に中電関係者は含まない。相良 20 人、地頭方 20 人。
・相良地区(大江区除く)、地頭方地区に人選をお願いする。
・反対派、賛成派、ニュートラル派、男女、年代に考慮して選んでもらう。
・40 人以外に、中電、ファシリテーターが各グループ 1 人入る。
・市職員は入らない。
・公募 4 人

2 実施の概要

(1) 参加者の選定

- 参加人数は 40 名程とし、参加メンバーは固定し 4 回シリーズで参加可能な者を選出する。
- 参加者は PAZ 圏内(地頭方地区、相良地区)の住民を中心とする。

(2) 実施方法

- 意見交換会は講演(情報提供)+ワークショップの 2 部構成として、全 4 回で各回 3 時間程度とする。
- 参加者を 8 グループ程度に分け、全体進行に市民ファシリテーター 1 名とグループ単位に市民ファシリテーターを 1 名配置しグループの進行、取りまとめを行う。
- グループに中部電力社員 1~2 名を配置する。

3 具体案

[第 1 回] 平成 28 年 9 月 9 日(金) 18~21 時 牧之原市史料館

テーマ: **趣旨説明等**

…趣旨説明、全 4 回の進め方等について

[第 2 回] 平成 28 年 9 月 27 日(火) 18~21 時 牧之原市史料館

テーマ: **福島の現状**

…福島第一原子力発電所での事故を振り返り、原子力災害や現地での生活などについて

[第 3 回] 平成 28 年 10 月中

テーマ: **エネルギーと原子力発電所**

…日本のエネルギー事情、これからのエネルギー政策、浜岡原子力発電所の今について

[第 4 回] 平成 28 年 11 月中

テーマ: **未定**

…○○○

・い〜らに変更
・“ホール”で桜井市長の講話 70 分
・その後、ホワイエに移動してワークショップ

4 アドバイザー

日詰一幸 氏 (静岡大学 教授)

5 会の公開

- (1) 一般公開とするが、メンバーの活発な意見交換に妨げにならないように会場設営、運営等配慮する。
- (2) マスコミ関係者に対して公開とする。

原子力防災講演会

福島第一原発事故の影響を受けた南相馬市の、当時から現在の状況を知り、原子力が地域に与える影響について考えてみませんか？

日時 平成28年9月27日(火)
午後6時00分～午後7時15分
(開場 午後5時30分)

会場 相良総合センター い～ら ホール

入場無料・申込不要

講師 南相馬市長 桜井勝延氏

講演内容

(仮)「福島の現状」

福島第一原発事故を振り返り、原子力災害や
現地での生活などについて



主催 / 牧之原市

問い合わせ先 牧之原市総務部防災課

電話 0548-23-0058

FAX 0548-23-0049

Email bousai@city.makinohara.shizuoka.jp